



三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2013.6.17

No.2081

No.39



出席率 会員47名中36名

先々週の出席率 93.18%

先週のメイクアップ 6/12 三條RCへ 佐藤秀夫君
6/15 拡大地区運営会議(胎内)へ
馬場信彦君 草野恒輔君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井範夫

皆さん、こんにちは。

先週の例会では、「あともう一回で任期が終わります…」と書いてしまいましたが、何とも私の勘違いで、本日と次週の慰労会で終わりとなります。残された日々、最後までご協力のほどよろしくお願いいたします。

10日位前に親友の母が亡くなり、またその一週間後にその方の父上も亡くなりました。二回とも通夜、葬儀と見附まで行き、お斎は“小林樓”でした。リニューアルされた“小林樓”で大変気分よく飲んでできましたが、それで終われば良かったのですが、悪友4人と一緒だったので、三條に戻ったのが3時半頃、まだ開いていないお店に頼みこんで二次会をやってしまった。つき合いも大変です……。

そして、その翌日、急に思い立ち、出張から戻ったばかりでしたので朝早く会社に行き仕事を済ませて、9時半に家内に電話、「温泉に行くぞ、10時半に出発するから」……。

宇奈月のトロッコに乗って終点のけやき平で降り、名剣温泉という「秘湯の会」に入っている定員15名の温泉宿に一泊してきました。

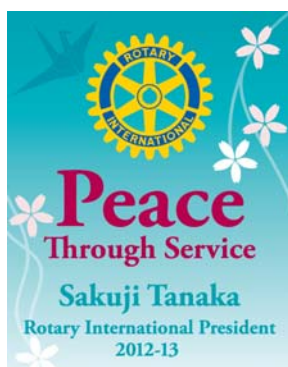
トロッコに乗ってからは、当日は雨でしたので、渓谷は霧の中にあり、脇の山々がその中に浮かんで、幻想的な景色でした。川は雪解けのエメラルド色の水に溢れ、どうどうと流れ、頭上には緑の木々、そんな中で湯に浸り本当に癒されました。テレビも何もなくて、ただボケーっとしていただけで、最初は手持ち無沙汰に戸惑いましたが、すぐに慣れ、トロッコに乗ってから帰るまでの20時間ほどでしたが、あっという間に過ぎて行きました。

もちろん携帯電話もつながりません。ときにはこんな時間があってもいいものだなとつくづく感じました。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中作次 [埼玉、八潮]
 第2560地区ガバナー 鈴木重彦 [長岡]
 第4分区ガバナー補佐 杉山太三郎 [巻]
 会長 坂井範夫
 幹事 丸山征夫
 S A A 永桶俊一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



丸山 征夫 幹事

●三条市青少年育成市民会議より「平成 25 年度三条市青少年健全育成市民大会」のご案内

<日 時> 2013 年 7 月 14 日 (日)
 <本大会> 13:00~15:30
 会場 三条市中央公民館 大ホール
 講演会 「今、こたますとき ~みすゞさんのまなざし~」
 金子みすゞ記念館館長、童話作家 矢崎節夫氏

※当クラブより運営協力金としてニコニコボックスより 20,000 円拠出

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 6 月 17 日 15,000 円
 今年度累計 915,500 円
 +600 パーツ~

坂井君 景気がよくありません。早く、アベノミクスが効いてきますように待っています。
 丸山(征)君 暑いです。(皆同じ)
 野中君 坂井年度もあと2回。皆様のBOX協力よろしくお願ひします。

熊倉君、坂本君、佐々木君、滝口君、田代君、田中君、銅冶君、野崎君、野水君、渡辺(俊)君、渡邊(久)君
 BOXに協力いたします。

Club Forum 次年度事業計画発表



クラブフォーラム

次年度 草野 恒輔 会長

クラブ会長主要目標

2013-14 三条南ロータリークラブのテーマ

変革の時 新しいROTARYを楽しく生きよう

ROTARYの中核的価値観

(奉仕 親睦 多様性 高潔性 リーダーシップ)をもって
 活動しましょう

[クラブ運営方針]

職業奉仕 : 4つのテストを基に個人または会社の業務・夢を精一杯語りましょう

地域協同ネットワーク : 通年事業となりますが、災害時、ROTARYは何ができるか検討しましょう

未来の夢計画 : 本年より奉仕活動に対してRIに申請すると補助金が支給されます。
 地域に貢献するROTARYの姿が世界規模で見えることとなります

会員増強 : ROTARYの価値を理解し、積極的に会員になって頂く努力をしましょう



次年度 松崎 孝史 会計

今年度末で2名の方より退会の申し出があり、次年度は44名のスタートとなります。4名の会員増強目標のもと予算編成させていただきました。4名の目標が達成できませんとかなり厳しい会計状況となります。予算に沿って各委員会の事業を進めていただきますようお願いいたします。

会費につきましては今年度と同じく前期120,000円、後期120,000円。また、前後期会費と一緒に特別寄付金としてロータリー財団(ポールハリスフェロー積立)5,000円、米山奨学(米山功労者積立)5,000円を徴収させていただきます。

※配布資料: 2013~14年度収支予算書 をご参照ください



委員会の目的と事業内容

- 親睦 会員全員が参加し、楽しい例会、親睦会を実施することで会員の友情を深める
- プログラム 例会出席率向上のため（90%以上を維持）、バランスのとれたプログラムを心がける
- ① 親睦
 - ・SAAと協力し会場づくりをする
 - ・会員、ご夫人の誕生祝、結婚記念のお祝いの贈呈
 - * 会員誕生祝・・・星野園（星野健司会員事業所）のコーヒー
 - * ご夫人誕生祝・・・ドゥレザン（洋菓子店）のお買い物券
 - * 結婚記念祝・・・マルト長谷川工作所 の爪切りセット を予定しています



親睦行事

7月22日	山崎ガバナー公式訪問	於：VIP	グランドホール
8月26日	夏忘れ例会	於：VIP	ピアガーデン
10月28日	秋の味覚例会	於：鉄板焼き	峰
12月16日	忘年家族会	於：VIP	グランドホール
1月27日	新年会	於：松木屋	
3月13日	市内4RC合同例会（東RC担当）	於：未定	
4月14日	春の旬例会	於：湯田上温泉	わか竹
6月30日	会長、幹事慰労会	於：松木屋	

- ② プログラム
 - ・委員会事業に重点をおく
 - ・第一例会にショートスピーチを実施する（5分×2人）
 - ・卓話の実施
 - ・エコランチ（2か月に一度カレーの日）の実施

※配布資料：2013～14年度例会・行事計画表をご参照ください。

委員会の目的と事業内容

委員会の目的は、草野会長のテーマである「改革の時、新しい ROTARY を楽しく生きよう」を念頭に、地域と密着した事業をし、より良い地域社会づくりを目指す奉仕活動を行っていきます。

活動として1つには「AED（自動体外式除細動器）の設置および救命講習会の開催」を行います。三条市役所でAEDの寄贈を希望する公共施設が10施設あり、その中で市担当者との打ち合わせによりその設置優先順位を配慮し、三条市火葬場「槻の森斎苑」にAED寄贈、設置を社会奉仕事業としました。

具体的には7月1日（月）会長、幹事、社会奉仕正副委員長4名で三条市国定市長に表敬訪問し、目録の贈呈を行ってきます。また、7月10日（水）10時から

「槻の森斎苑」にて講習会を行う予定です。

また、例年参加している「五十嵐川クリーン作戦」につきましては、6月18日（火）に担当者会議があり、佐藤嘉男副委員長が出席して下さり、具体的な日程が調整されると思います。日程が確定されましたら、皆さまにご案内をいたしますので、参加のご協力をよろしくお願いいたします。



委員会の目的と事業内容

財政的寄付および財団プログラムへのクラブの参加の両面からロータリー財団を支援するための計画を立案、実施することを目的とします。

次の事業を計画しています。

- ① 「未来の夢計画」導入の初年度でもあり、会員にロータリー財団事業について、理解と協力を深めます。
- ② 年次寄付目標 一人150ドル以上達成できるように会員の皆さんにお願いします。



- ・ 財団BOXへの協力を会員の皆さんにお願いします。
(ガバナー公式訪問時、新会員入会時、ロータリー財団月間時 等)
- ・ 社会奉仕委員会に協力し、地区補助金を利用した事業の実施をバックアップします。

次年度 米山奨学委員会

吉井 正孝 委員長



委員会の目的と事業内容

留学生への支援活動としては、日本最大の組織「米山記念奨学会」への理解と、寄付行為や留学生の受け入れ等、具体的な支援内容について、さらなる会員の理解と協力を求めていくことを目的としています。事業内容としては、

- ① 会員に米山記念事業についての理解と協力を深める
- ② ガバナー公式訪問時、ガバナー補佐訪問時、新会員入会時、米山月間等、それぞれの機会に米山奨学BOXへの協力をお願いすると同時に、公益財団法人としての「米山記念奨学会」への税制上の優遇措置等についてもPRしていきたい

- ・ 2013～14年度の地区目標額 一人 18,000円を達成したい

- ・ 「米山月間」に、米山奨学生あるいは学友からの卓話をお願いしたい

2008～2010年にコートジボワール出身、長岡技科大大学院の米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君のカウンセラーを務め、大変貴重な経験をさせていただきました。現在彼は東京の会社に勤務しておりますが、折に触れ、メールをくれたり、休暇を利用しては我家を訪ねて来てくれたりと交流を続けております。

先般、横浜で「アフリカ開発会議 (TICAD)」が開催されておりましたが、その会議にも招かれ、アラサン・ウワタラ大統領との懇談会に出席したようです。メールでその折りの写真を送ってくれたのですが、皆同じ顔に見え、どれがタキ君で、どの人が大統領か見分けがつかないような写真でした。

米山記念奨学の目的「日本と世界各国との架け橋となって…」を果たしてくれているようでうれしい限りです。

『米山月間』時に彼から卓話をしてもらいたいと計画しておりますが、宮仕えの身ですので、予定がなかなか立ちません。もしこの希望が叶いましたら、彼の「在日奮闘記」を聞いていただければと思います。

次週例会 7月 1日 「クラブ・フォーラム」

次々週例会 7月 8日 「事前訪問」 第4分区ガバナー補佐 鈴木 守男 様



表紙について

あの日の一枚

…「創立30周年記念式典・祝賀会」

故藤田説量PGによる乾杯

1998年6月6日於:ハミングブラザVIP

三條南ロータリークラブ週報

2013. 6.17

No.2081 No.39